

平成24年度
岡山セラミックス技術振興財団 研究報告会
 ~ ~ ご 案 内 ~ ~

平成24年度における研究成果報告会を次のとおり開催しますので、地域企業の方々、ご関係の方々に多数ご参加いただきたくご案内します。

■ 開催日時 : 平成25年 3月14日 (木) 12:50~15:00

■ 会 場 : 岡山セラミックスセンター セミナー室
 (備前市西片上 1406-18 TEL 0869-64-0505)

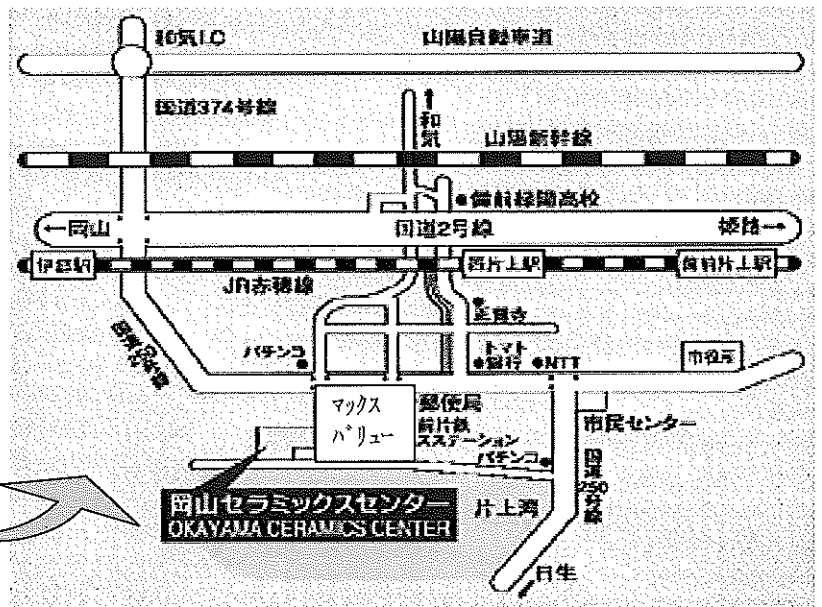
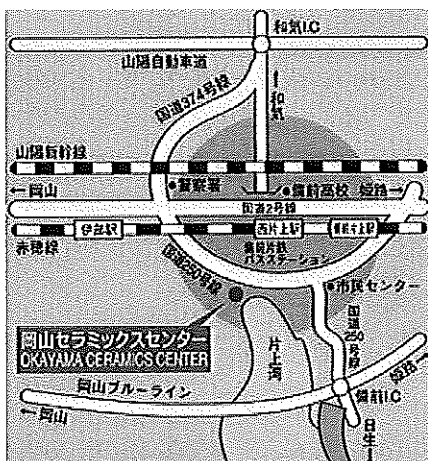
■ プ ロ グ ラ ム

時 間	内 容
12:50-12:55	・開会あいさつ 岡山セラミックス技術振興財団 研究所所長 山口 明 良
12:55-13:15	ムライトの還元分解を利用した傾斜機能材料の作製 岡山セラミックス技術振興財団 研究員 中 村 弘 ムライトは溶鋼による分解、カーバイドによる分解、アルカリによる分解、還元雰囲気下での分解が知られている。還元雰囲気下での分解を利用することで、内部ムライト、外部アルミナといった内部と外部で鉱物相の異なる傾斜機能材料を作製した。
13:15-13:35	レーザーフラッシュ法によるモールドパウダーの熱伝導率測定 岡山セラミックス技術振興財団 研究員 中 谷 枝里香 铸件からモールドへの熱伝達制御の役割をもつモールドパウダーは、高温測定に伴う実験上の困難さからその伝熱機構は十分に解明されていない。レーザーフラッシュ法によってパウダーフィルムの熱伝導率を測定し、モールド内での伝熱機構解明を検討した結果を報告する。
13:35-13:55	木質系バイオマス資源から得られる炭素の耐火物への応用 岡山セラミックス技術振興財団 研究員 前 田 朋 之 耐火物で使用されている炭素は主に鱗状黒鉛であり、その大部分を海外からの輸入に依存している。本研究では、日本国内にある木質系資源から炭素原料を調達することを目的とし、木質系炭素を用いて MgO-C れんがの試作を行ったので、この結果を報告する。
13:55-14:00	休憩

時 間	内 容
14:00-14:20	<p>溶融スラグの粘性に及ぼす窒化物の影響 岡山セラミックス技術振興財団 研究員 前田 朋之</p> <p>スラグへ窒素が取り込まれることによりスラグ粘性は高くなると考えられる。本研究では Na-Ca-Si-Al-O 系の合成スラグにおける温度と粘性との関係について報告する。また、窒化けい素を 3mass%添加した場合の粘性変化についても報告する。</p>
14:20-14:40	<p>Al₄SiC₄の焼結性に及ぼす鉄の添加効果と高温材料への応用 岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西川 智洋</p> <p>Al₄SiC₄ 粒子の焼結性について放電プラズマ焼結とホットプレスによる焼結を実施し、密度測定による評価の結果、放電プラズマ焼結を用いることによって焼結が促進することがわかった。また Al₄SiC₄ 焼結体の緻密化に鉄の添加効果を見出した。また、鉄の添加によって Al₄SiC₄ 緻密焼結体の熱膨張を抑制することがわかった。さらに、熱伝導率についても解析を加え高温における Al₄SiC₄ 構造体の特性を調査した結果を報告する。</p>
14:40-15:00	<p>Al₄SiC₄-C系材質の緻密化と特性評価 岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 星山 泰宏</p> <p>新規複合化合物である Al₄SiC₄ の耐火物への応用に関する研究の一環として、Al₄SiC₄ を多量添加した Al₂O₃-Al₄SiC₄-C 材質の緻密化と耐食性との関係について、熱力学相平衡計算を用いて検討した結果等を報告する。</p>
15:00	閉 会

- 定 員 : 50名
- 参 加 費 : 無 料
- 申 込 方 法 : 別紙の様式により、平成25年 3月 7日 (木) までに FAX (0869-63-0227) でお申込み下さい。
- 申 込 先 : 岡山セラミックス技術振興財団 事務職員 中本いづみ
備前市西片上1406-18 TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
- そ の 他 : お申込み後、ご欠席の場合には、代理の方の出席をお願いすると共に事務局に必ずご一報くださるようお願いいたします。

■ 会場案内図



・ JR赤穂線で45分西片上駅
下車徒歩約8分
 ・ 岡山市内から車で約1時間

平成24年度 岡山セラミックス技術振興財団 研究報告会 参加申込書

平成25年 月 日

会社名 :
申込者 :
連絡電話 () -

案内のあった報告会に次のとおり参加を申し込みます。

No	参加者名	所属/役職	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			